

# 仙水ダイコン

業務用ダイコンに力を入れています！



## 戸井田拓也さん (大分県竹田市在住)

大分県竹田市荻町に在住の戸井田拓也さんを訪ねました。竹田市荻町(標高600m)は、準高冷地に区分され、暑さが厳しい九州における夏場のダイコン産地として知られています。平坦地と比べ冷涼とはいえ、夏場のダイコン生産はやはり多くの困難を伴います。何より品種力を重視する戸井田さんは、この困難を品種力で乗り切ろうと多くの品種を試験し、6月～7月20日まで収穫するダイコンとして「仙水」を採用しました。戸井田さんに「仙水」導入までのいきさつを聞きました。

### 戸井田さんが「仙水」を採用するまで

- 竹田市荻町は準高冷地ではあるが、7～9月は出荷量減  
⇒ナンブ病、横縞症の多発で秀品率が落ちるため

★7～9月の九州の業務用ダイコンは  
北海道・青森産の利用が一般的

- ・ 輸送コストがかかる(北海道→九州)  
⇒竹田市荻町からの発送なら低く抑えられる
- ・ 到着までに5日程度かかる(北海道→九州)  
⇒竹田市荻町からなら1日でOK(九州内)

- 竹田市荻町でなんとか7～9月どりダイコンを作りたい  
「春ダイコンより高温障害に強く、夏ダイコンより太りの早い品種が必要だった」(戸井田さん)

- 4年前から6月～7月20日収穫向けで「仙水」を採用  
⇒「春ダイコンと夏ダイコンの端境期を狙える」

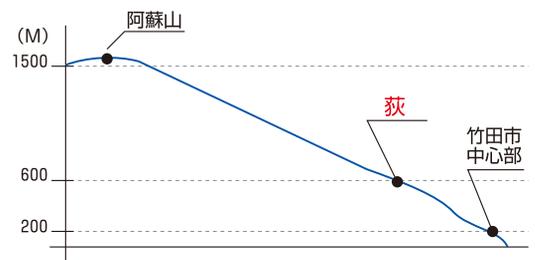
### 「仙水」利用の利点とリスク

- ◇2Lサイズ中心のダイコンが収穫可能  
⇒φ8.5cm、根長37～38cm
- ◇マルチのみの栽培  
⇒資材コスト低減が可能
- ◇少肥栽培向き  
⇒肥料コストの低減
- ◆早生のため、収穫適期を逃すと太りすぎる  
⇒計画的な播種を心がける
- ◆高温による黒芯症、多肥条件下では割れを生じることがある  
⇒7月20日以降の収穫は避け、前作の残肥を踏まえた施肥設計を行う。

「100点満点ではなくても、確実に80点以上のダイコンができるのが、契約を抱える私にとって何よりの魅力」と語る戸井田さん。2009年も「仙水」を使います。

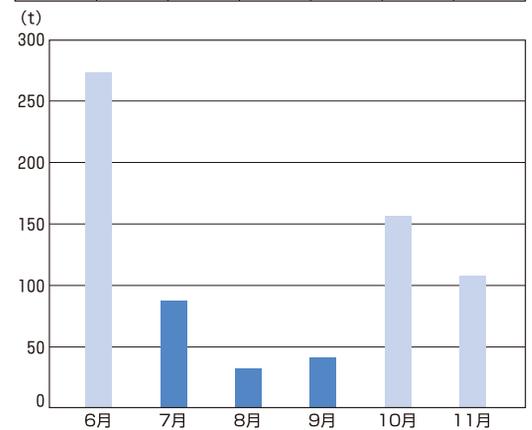


### ■荻町の位置(阿蘇山との比較)



### ■荻町におけるダイコン出荷量の推移

	6月	7月	8月	9月	10月	11月
出荷量(t)	270	86	28	34	155	105



(JA大分みどり様のデータより)



収穫を待つ「仙水」。竹田市周辺では7月どり品種として評価が高い。